

「長野県中学生期のスポーツ活動指針」を踏まえた取組状況について

スポーツ課

- I 調査名 平成 28 年度 中学校運動部活動に関する調査
- II 調査対象 県内公立中学校 186 校対象（県立 2 校を含む）
- III 調査期日 平成 28 年 8 月 20 日 ～ 8 月 31 日実施
- IV 調査結果

1 運動部活動の活動基準について

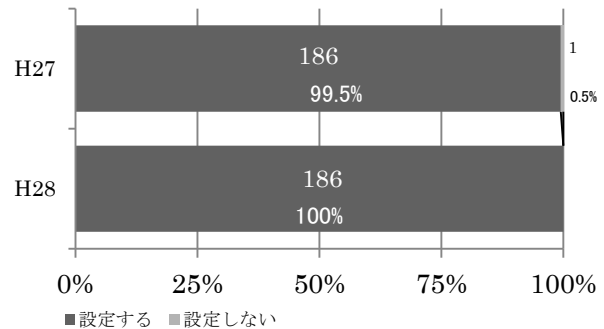
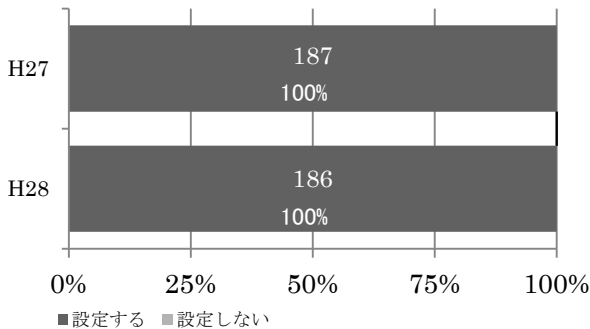
上段:「平成 27 年度 中学校運動部活動に関する調査」(H27.8.20～8.31 実施)

下段:「平成 28 年度 中学校運動部活動に関する調査(本調査)」(H28.8.20～8.31 実施)

(1) 活動時間について

① 平日の総活動時間を 2 時間程度、長くて 3 時間以内に設定

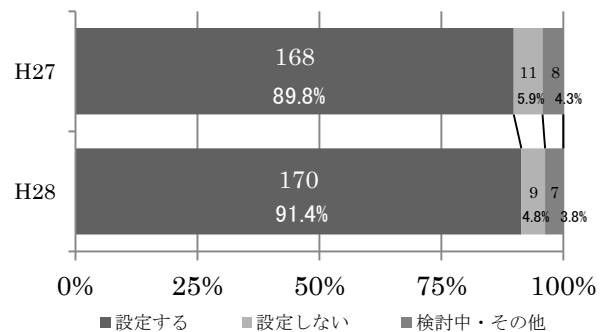
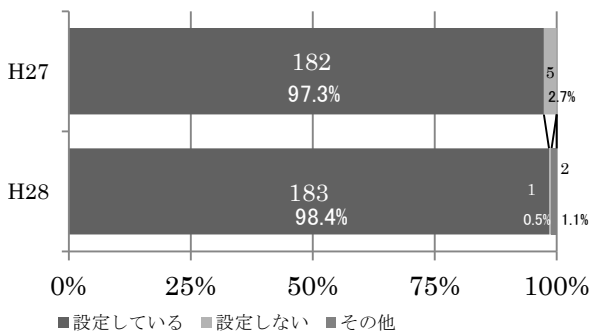
② 休日は午前、午後にわたらない *4 時間目安



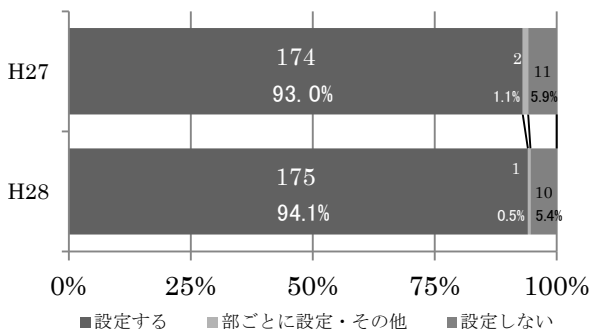
(2) 休養日の設定について

① 休日(土日)に 1 日(以上)の完全休養日の設定

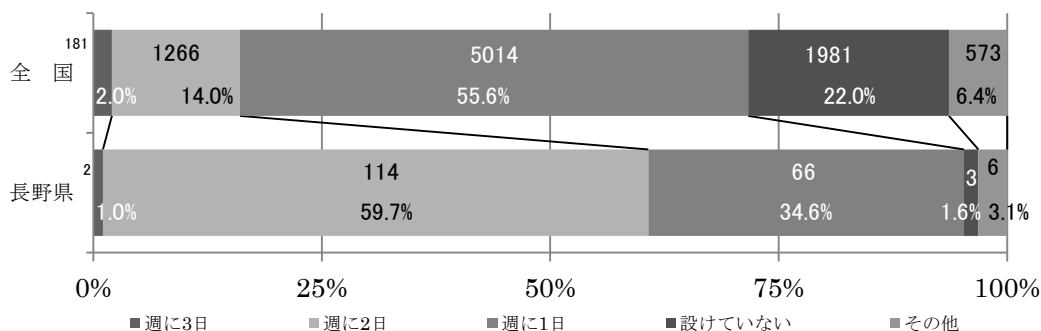
② 休日の両日活動の時、他の曜日への休養日の振替



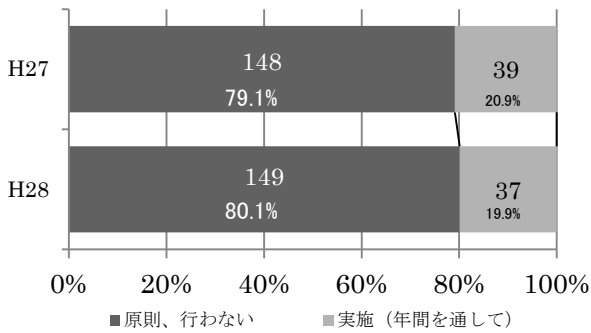
③ 平日に 1 日(以上)の完全休養日の設定



④ 参考:学校の決まりとしての部活動の休養日の設定 (H28 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より 県内 191 校対象)



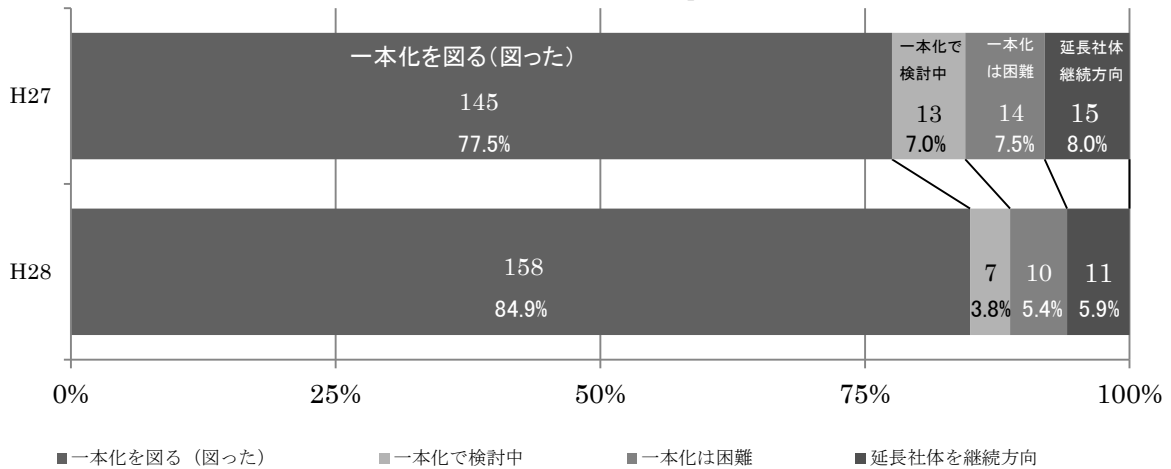
(3) 朝の運動部活動を原則行わないことについて



2 運動部活動の延長として行われている社会体育活動を部活動に一本化することについて

上段:「平成 27 年度 中学校運動部活動に関する調査」(H27. 8.20~8.31 実施)

下段:「平成 28 年度 中学校運動部活動に関する調査(本調査)」(H28.8.20~8.31 実施)

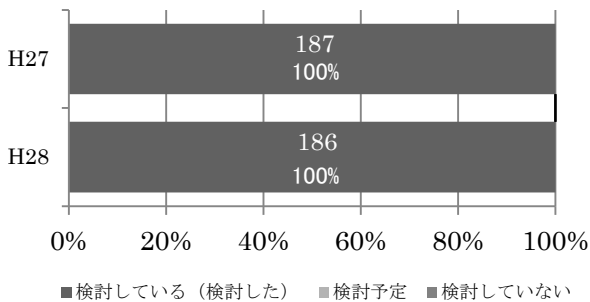


3 運動部活動の運営について *前年度との比較

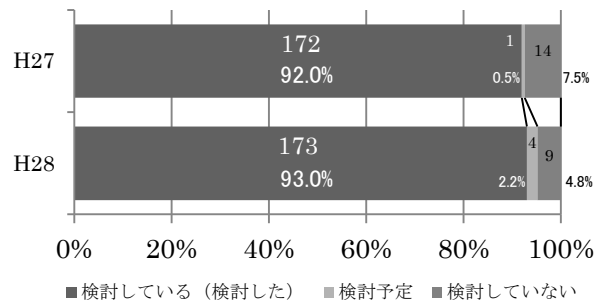
上段:「平成 27 年度 中学校運動部活動に関する調査」(H27. 8.20~8.31 実施)

下段:「平成 28 年度 中学校運動部活動に関する調査(本調査)」(H28.8.20~8.31 実施)

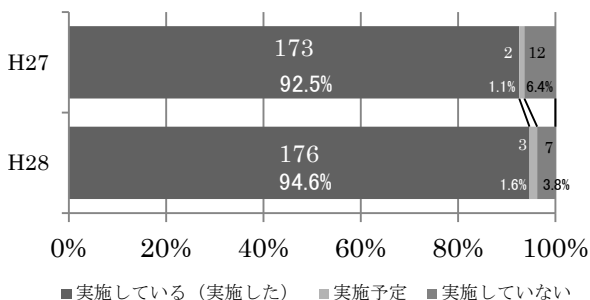
(1) 認識の共有化が図られるよう職員会等において検討



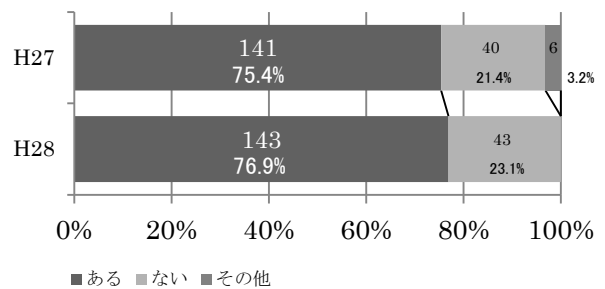
(2) 指導充実に向け諸会議等の持ち方の改善・工夫



(3) 体罰・ハラスメント防止等の校内研修の実施



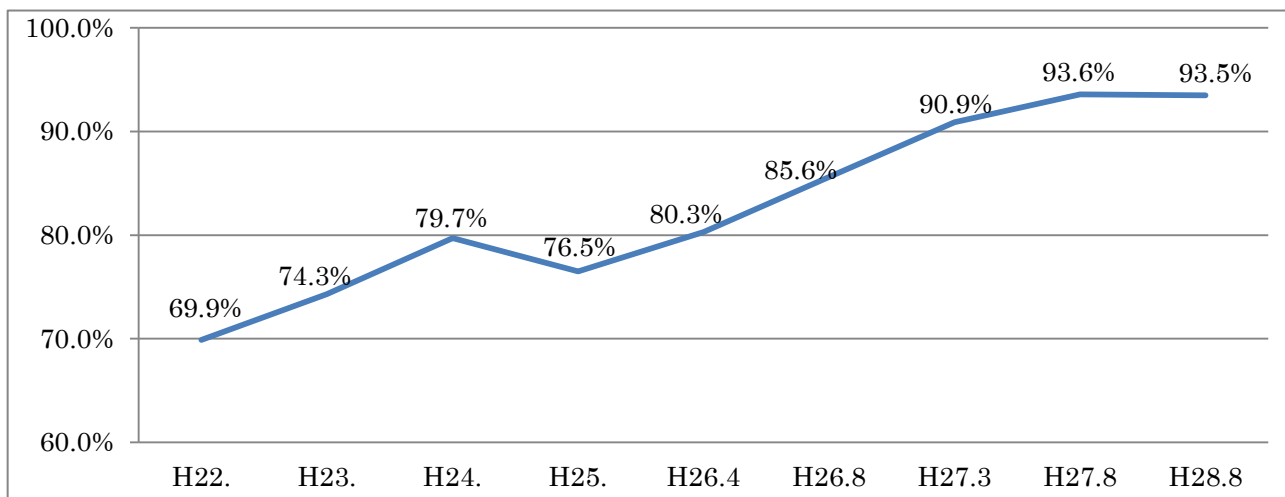
(4) 学校評価に部活動の評価項目を設定



○ よりよい運動部活動の運営のために、体罰防止等の研修や学校評価等を位置付けている。

○ 保護者や生徒への説明や調査を行い、自校の部活動のあり方について検討をするとともに運営・指導の改善を図っている。

4 スポーツ活動運営委員会の設置状況



5 各校の取組工夫例について

(1) 日課の工夫

- ・部活動時間が十分に確保できる春～秋の6ヶ月間、朝部活をなくし、生徒の体調管理と、より効率の良い活動ができるよう活動内容を考えている。
- ・新人戦終了後に、完全休息期間を2週間設けている。
- ・生徒や保護者の要望にも配慮し、朝部活をなくして放課後練習に充当し、練習時間をこれまで通り確保した。
- ・放課後の活動時間確保のために日課時限を改め、会議を精選している。

(2) 指導の工夫

- ・限られた時間で活動の成果が上がるよう、活動の質を上げる努力を各顧問がおこなっている。
- ・主顧問のみが指導するのではなく、副顧問と仕事を分担し、主顧問の負担を軽減している。
- ・非違行為（体罰）の未然防止に向け、部活動指導についての研修を計画している。

(3) 運営について

- ・長野県及び市の部活動活動指針に基づき、活動時間を学校独自に設定し、生徒の負担が増えすぎないようにしている。
- ・各部活動保護者代表者を本年度から立ち上げて、各部の保護者の考えを聞いたり、互いの部活動の情報交換をしたりしている。
- ・職員室に部活動の予定黒板を設け、他の部活動の様子も全職員がつかめるようにしている。
- ・8月～3月について、放課後の部活動を18:00まで延長するようにした。ただし、その場合は必ず、保護者の承諾を得られた生徒のみ参加としている。

(4) 施設等について

- ・ノー部活デイを部によって分散させることにより、施設を効率よく使用できるようにしている。
- ・放課後の活動を「部活動に一本化」した関係で、体育館使用部活の活動時間を前後半に分けたローテーションを組む事で確保している。

(5) その他

- ・生徒数・職員数の減少に伴い、部活動数も削減しなければならない状況である。計画的に削減していくために、ガイドラインを設け、生徒や保護者、地域にも状況を説明しながら進めている。
- ・小中併設校なので、小学校5年生から部活動体験を行い、希望者は週2回課外活動として参加できるようにしている。
- ・生徒の減少に伴い、少人数でも活動が可能でなおかつ地域にも指導者がいる競技に移行した。